

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第 1 3 回月例研究会

日時：2011 年 11 月 9 日（水）16：30～

場所：本部事務局棟 3 階第一会議室

内容：西安・洛陽都城遺跡の現地調査報告

—特に遺跡の復元整備状況をめぐって—

舘野和己（文学部 教授）

出田和久（文学部 教授）

2011 年 3 月、我々は古代都城制研究のために、中国・西安に残る唐代・長安城の遺跡と碑林博物館、洛陽に残る漢魏洛陽城遺跡などの現地調査を行いました。印象的だったのは、訪れた各地で遺跡の大規模な復元整備工事が実施されていたことです。特に長安城の曲江池や大明宮遺跡では、3 年前に行ったときと、すっかり様相が変わっており、大いに驚かされたところです。

そこで見学した各地の遺跡や博物館の写真をお見せしながら、発掘調査の成果や復元整備の状況を報告します。日本における都城制や、遺跡整備のあり方を考える一助になればと思います。

ご自由にご参加ください